

## 2024年度 一般社団法人日本臨床化学会 臨時社員総会/評議員会 議事録

日時 : 2024年8月31日(土) 8:30-9:20

会場 : ライトキューブ宇都宮 第1会場(3階 中ホール)

議長 : 三井田 孝 理事長

出席者数 66名、議決権行使 54名、委任状 18名 計 138名、全評議員数 165名

### 議 題

開会の辞(三井田 理事長)

第64回年次学術集會長挨拶(山田 年次学術集會長)

- ・年次学術集會長からご挨拶、台風についての対応について報告があった。

<臨時社員総会>

1. 2025年度理事・監事選出(三井田 理事長)

- ・選挙の開票結果は以下の通りで、承認された。

医師: 松下一之、吉田博

教育・研究職: 惠 淑萍、中川 沙織

医療職: 城野 博史、堀田 多恵子

産業系: 中沢 隆史

監事: 齋藤 邦明

(敬称略)

2. 特別名誉会員・名誉会長・名誉会員・有功会員候補者

- ・学会への多額の寄付を受けたことにより、須藤佳代子先生を特別名誉会員に推薦したい旨提案があり、承認された。
- ・名誉会員・有効会員についても、承認された。

名誉会長: 前川 真人

名誉会員: 大久保 滋夫、諏訪部 章、濱田 悦子、山田 俊幸

有功会員: 市原 文雄、今井 恭子、木村 聡、木村 秀樹、小柴 賢洋、佐藤 正一、

末岡 榮三朗、谷 直人、白井 秀明、那谷 耕司、前田 士郎、松下 誠、

三宅 一徳、山中 茂雄

(敬称略)

3. 所在地変更に伴う定款変更

- ・事務局移転に伴い、定款の表記を変更する必要がある。登記に関わる部分になるため、事務局で対応を進める旨提案があり、定款の表記変更について承認された。

<評議員会>

1. 報告事項

1) 庶務報告(吉田 理事)

①学会会員現状報告

- ・2024年7月31日時点で、正会員 1,521名、正会員(30歳未満) 148名、評議員 165名となっており、順調に推移している。
- ・評議員と正会員(30歳未満)が、ほぼ同数となってきている。
- ・名誉会員が2名依拠され、学会誌でも追悼文を掲載した。
- ・企業会員は39社であった。

②事業報告・事業計画

- ・2024年6月21日に開催した理事会以降、各種委員会などを開催し、学会誌は順調に発行している。本理事会以降も会議、学会誌発行など予定している。
- ・役員の選挙が実施された。6月25日に投票に関する案内がなされ、7月3日~17日で投票、7月18日開票された。

2) 常置委員会報告(吉田 理事)

①編集委員会報告

- ・ 学会誌は、52 巻 4 号～53 巻 3 号までを発刊した。
- ・ Annals of Clinical Biochemistry (ACB) B のインパクトファクターは 2.1 であった。日本の投稿数は減少傾向にある。
- ・ 前日 (8/30) に開催した座談会では、活発な議論が交わされた。
- ・ トピックスなどのフリーアクセス化、Student Award 受賞者にショートレビュー形式での原稿依頼、シニアの会員への原稿依頼など、検討を進めている。

#### ②国際交流委員会報告

- ・ IFCC eNews に 2022 年度学会賞受賞者の研究紹介を掲載した。
- ・ Medical Laboratory Professionals Global Week2024 に、石嶺先生に作成していただいた動画を提出した。
- ・ APFCB News の 2024 年第 1 号に第 63 回年会報告、第 2 号に学生シンポジウム受賞者の受賞演題の紹介と感想を寄稿した。
- ・ Adaptive Learning for Laboratory Medicine 多言語翻訳家プロジェクトに参加し、20 名程度の方に協力をいただき、現在 10 名程度の方に翻訳をしていただいた。まだ 120 近くあるので、協力をお願いしたい。

#### ③教育委員会報告

- ・ 2024 年度認定臨床化学者は、新規 14 名、更新は 12 名全員が承認となった。更新されていない方が増加傾向のため問題視している。
- ・ 2024 年度精度保証管理者制度の認定試験は、2024 年 12 月 22 日 (日) に開催予定。更新申請は 2020 年度取得者が対象で、申請期間は 2024 年 10 月 15 日～2024 年 11 月 11 日。
- ・ 更新用セミナーを年次学術集会のセッションで実施、台風の影響で来場ができなかった方は、オンデマンドでの対応も検討している。浜松ラボハーモ・カンファレンス 2024 でも単位取得の研修を実施。

#### ④学術連絡委員会報告

- ・ 各専門委員会のプロジェクトが進んでいる。
- ・ APFCB から Invitation to Contribute to Upcoming Webinar Series の検討依頼があり、利用できることがあれば前向きに検討する。
- ・ 2025 年度日本臨床検査医学会の共催シンポジウムの担当は、止血・血栓検査委員会に決定した。
- ・ 糖尿病関連指標専門委員会委員長の交代があった。

#### ⑤集会・広報委員会報告

- ・ 専門委員会のページの更新が滞っている。第 64 回年次学術集会では、専門委員会のプロジェクト報告やセッションがあるので、内容について是非情報発信をしていただきたい。
- ・ ピットフォール研究専門委員会のページは窓口関連含め充実してきており、マニュアル作成も随時行い、充実した内容になっている。クオリティマネジメント専門委員会の統計検査医 支援ソフトダウンロードは本会以外の先生からも好評であり、更新も随時行われている。
- ・ 編集委員会では、学会ホームページへのアクセス数を増やすための対策を検討しているため、集会・広報委員会と連携しながら進めていきたい。
- ・ バナー広告は、現在 4 社のみ公開している。

#### ⑥学会賞選考委員会報告

- ・ 2025 年度の学会賞募集要項、Young Investigator Award (YIA) 概要、JSCC Student Award 概要等について、委員会で検討し、下記のとおり一部修正した。  
YIA : 過去に YIA または学会賞奨励賞の受賞歴がないこと、など  
JSCC Student Award : 応募資格として、教員、学会賞奨励賞受賞者を除外する、など

#### ⑦法務委員会報告

- ・ 2023 年度に関する利益相反アンケート調査を行った。回答率は 100%であった。
- ・ 利益相反調査の設問について見直しを検討中である。

#### ⑧あり方検討委員会報告

- ・ 本会 65 歳以上の会員ならびに 60 歳から 64 歳の会員を対象として実施したアンケート調

査の回答について委員会で検討した。

- ・ 回答率は高くないが、多くの意見をいただいた。
- ・ 今回の対象者以外、全会員に向けてもアンケートを実施するよう調査内容について検討中。

#### ⑨若手育成委員会報告

- ・ 若手会員向け研究相談会を年次学術集会で実施予定。30名ほど参加の予定。
- ・ 今後は勉強会から研究会へとシフトしていく予定。
- ・ 論文の書き方など、WEB開催を検討中。

#### 3) 支部報告 (吉田 理事)

- ・ 9支部とも活発に活動が行われている旨報告された。  
①北海道支部、②東北支部、③関東支部、④甲信越支部、⑤東海・北陸支部、  
⑥近畿支部、⑦中国支部、⑧四国支部、⑨九州支部

#### 4) 学会賞関連報告 (三井田 理事長)

- ・ 今年度の受賞者は下記のとおり決定した。会員総会にて表彰式を行う。  
「学会賞」学術賞1名、奨励賞2名、論文賞1名、技術賞1社
- ・ Young Investigator Award (YIA) 報告  
支部ごとに1名選出し、今年度の受賞者は9名となった。会員総会にて表彰を行う。
- ・ JSCC Student Award 報告  
応募者の中から抄録を基に10名を選出し、学生シンポジウムのシンポジストに推薦した。年次学術集会当日、審査員が学生シンポジウムの発表について当日審査をし、受賞者は5名となった。

#### 5) 認定関連報告 (三井田 理事長)

- ・ 2023年度認定臨床化学者の合格者ならびに認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者試験の詳細が報告された。

#### 6) 第63回年次学術集会報告 (吉田 第63回年次学術集会長)

- ・ 2023年10月27日(金)～29日(日)に、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターで開催された。テーマは「医療の質を支える臨床化学の発展と社会貢献」
- ・ 現地開催をした。

#### 7) 第65回年次学術集会報告 (齋藤 第65回年次学術集会長)

- ・ 2025年11月7日(金)～9日(日)に、ウインクあいち(名古屋市)で開催する。  
テーマは「『知の創造と活用』で臨床化学の未来を切り拓く」

#### 8) 第66回年次学術集会報告 (恵 第6回年次学術集会長)

- ・ 北海道支部の恵 淑萍先生からご挨拶があった。
- ・ 日程・テーマについては未定。

#### 9) 第67回年次学術集会長選出について (吉田 理事)

- ・ 集会・広報委員会、常務理事会、拡大理事会で審議の結果、近畿支部の上田一仁先生に依頼することが決定した。

#### 3. 審議事項

##### 1) 2025年度予算案 (大川 理事)

- ・ 2025年度の予算案について、収入の部、支出の部に関する詳細について説明があり、評議員会にて承認となった。

#### 4. 閉会の辞 (三井田 理事長)

- ・ 理事長より挨拶があり、理事会は閉会した。

以上

2024年9月26日

一般社団法人日本臨床化学会臨時社員総会/評議員会

議長

三井田 孝



議事録確認者

志淑洋



議事録確認者

中川 新織

